

GERO NORTHバスケットボールクラブ 設立について 2022.08.23改版

GERO NORTHとは？

○中学生のバスケットボールサークル(チーム)

萩原スポーツクラブの会員で構成するクラブ所属サークル

萩原南中、萩原北中、小坂中の生徒を主な対象者とする

男子、女子の2チームを統一して管理・運営する組織

○部活動の地域移行施策案を契機に設立を推進

地域単位の合同部活動に対応するチームのモデルケースをめざす

令和4年9月以降の部活動の新チームの結成に合わせての始動予定

※設立構想は、バスケットボールのクラブ指導者と部活動顧問が協議して作成しました。

対象となる中学校の保護者など関係者との話し合いを行い、関係者の同意を得た

萩原SC運営委員会にて提案内容を審議し、地域移行に適う活動として支援を決定

バスケットボール以外の種目のモデルケースになるものと考えている

中学生世代のバスケットボールの活動状況 平成15年～令和2年

【活動内容】

萩原 S C

- スクール 男子 毎週2回(月・金) 19:00～21:00 南中体育館 ← 2021夏期の場合
- 女子 毎週2回(水・金) 19:00～21:00 南中体育館 ← //

- サークル 主に休日に行うチームでの活動(練習や大会参加など)
部活動指針(時間制限、休養日設定など)を遵守し、顧問と協同して実施 → 「協働連携」
現状は、バスケットの場合、萩原南中部活動部員とほぼ同一メンバーが参加

- イベント サークルが主管して交流大会などを開催 クラブにて助成

中学校

- 平日部活動 週3日程度 放課後1時間程度の練習
- 休日部活動 土日のいずれか一日、3時間程度の練習

【特記事項】

- ・指導者 萩原 S C : 一般社会人がクラブに入会し、クラブ指導者登録をして指導に携わる
教員もクラブ指導者登録して指導に携わることを推奨している
- 中学校 : 顧問が責任者 / クラブ指導者が外部指導者として委嘱される場合が多い
- ・クラブ指導者は、原則ボランティア(交通費の費用弁償程度)、外部指導者は中学校から謝礼あり
- ・保護者は、クラブの活動と部活動を混同して、すべて部活動と誤解している人が非常に多い

令和3年度 地域部活動推進事業 下呂市教育委員会より受託

休日の部活動の地域移行を実践研究 拠点校:萩原南中 委託先:萩原SC

地域部活動の要点

- ①部活動を学校単位から地域単位の活動への移行を前提とする 市内中学校に周知済
・北部地域（萩原南・萩原北・小坂）、南部地域（下呂・竹原・金山）
- ②下呂市内の少子化実態を踏まえ、合同部活動の実践を考える

実践研究内容

- 萩原SCのサークル事業を改良して、休日の部活動をクラブ管理下の活動として実施する
 - ・毎月単位で、地域部活動予定を決める クラブ指導者と顧問が相談し、地域部活動申請書を作成
 - ・運営・指導責任者はクラブ指導者
 - ・顧問もクラブ指導者登録して指導に携わることはできる 登録は任意
- 事業経費項目 **令和3年度は、委託事業からの支出項目あり**
 - ・施設使用料 クラブ負担(半額減免対象) **委託費充当**
 - ・スポーツ用具 クラブ所有物品を使用
 - ・指導者謝礼 クラブ規則の通り(費用弁償程度)
 - ・指導者経費 スポーツ安全保険料をクラブ負担 **委託費充当**
 - ・事務経費 クラブ事務局にて担当 **委託費充当**

課題 休日の活動を、学校部活動（中学校管理下）として行うか、地域部活動（クラブ管理下）で行うかは、顧問の選択事項とした。学校部活動では部活動手当があるが、地域部活動は手当はない。指導者謝金に関する大きな課題となっている。

GERO NORTH 設立の背景

令和3年度地域部活動推進事業をベースに、令和4年度からバスケットチームの活動について検討した

- ・令和4年度チーム 令和3年度の施策(地域部活動申請書など)を基本に活動する
- ・令和5年度チーム 今回設立するGERO NORTHの構想にて活動する

【目的】

- ①北部地域において、中学生がバスケットボールを出来る環境を考える(小坂、萩原北、萩原南)
- ②将来の少子化も見据え、継続してバスケットチームの編成ができる体制を作る
- ③中体連大会やその他の大会への出場ができるようにする

【要点】

- ①スクール : 現状を維持し、誰でも自由に参加できる 総合型クラブの理念
- ②サークル : 地域部活動としての機能を備えていること 中学校と地域の連携(協働)
部活動指針の遵守、顧問とクラブ指導者の協力体制

※萩原SCは、GERO NORTHの活動を支援します。

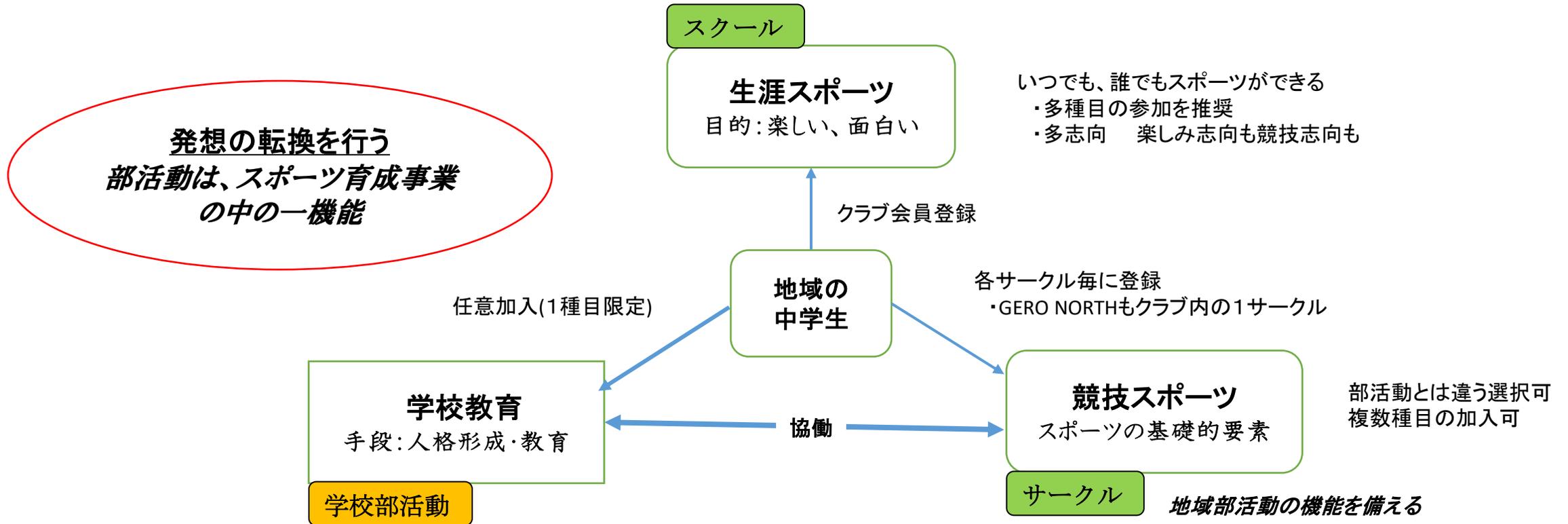
地域部活動のモデルケースとして、他の種目について同様形式での地域部活動を推進します。

GERO NORTH設立準備状況

月日	項目	内容
R3年度 ～R4.4	GERO NORTH 設立協議	3 中学校の関係者（クラブ指導者、顧問、保護者）にて協議 【GERO NORTH】設立構想案を作成し、クラブに提示
5/19	担当者打合せ	設立構想案を元に関係者にて協議 サークル代表者、クラブ事務局長、クラブマネジャー
5/27	下呂市部活動地域 移行準備委員会	教育委員会が開催する地域部活動推進に関する委員会 ・下呂市の方針変更について、内容説明があった 地域区分けを止めて、下呂市全域での合同部活編成を試行に変更
6/30	部活動連携勉強会	クラブ理事、クラブ指導者が参加する地域部活動に関する勉強会 ・GERO NORTH設立案について紹介し意見交換を行った
7/14	第2回運営委員会	GERO NORTH設立構想について提案し協議 ・部活動の地域移行のモデルケースとして支援することを決定
7/17	担当者打合せ	GERO NORTH対する支援体制について説明・確認 ・支援内容は次頁以降に記述 GERO NORTHバスケットボールクラブ規約案について協議 ・規約に関する要点事項は、次頁以降に記述 サークル代表者、クラブマネジャーにて協議

萩原SCにおける中学生のスポーツ育成基本概念

中学校(行政)とクラブ(地域)が連携し、協働で地域の子どもたちの健全育成を考え、実行する
地域への帰属意識を高め、大人になってもスポーツを楽しむ人を育み、地域の活性化に繋げる



地域部活動とは 部活動の地域移行を契機に名付けた呼称
萩原SC(地域)管理下で実施することにした部活動チームの通常練習
学校教育要素を踏まえたスポーツ育成をめざし、クラブ指導者と顧問が協力して運営・指導

GERO NORTH始動後の中学生バスケットボールの姿

萩原SC管理下の活動		
スクール	定期活動メニュー 萩原SC会員なら誰でも自由に参加できる クラブの理念・目的(いつでも、誰でもスポーツができる)に適った活動	平日夜間
サークル(地域部活動)	GERO NORTH会員による活動 地域部活動申請書により申請 ・休日の部活動を地域に移行して行う活動 チームの通常練習	主に休日
サークル(チーム活動)	GERO NORTH会員による活動 事業申請書により申請 ・練習試合、遠征、大会参加など地域部活動以外の活動	
地域振興イベント	バスケット(スクール種目)で開催するイベント	・萩原SCにて助成
中学校管理下の活動		
部活動 平日	部活動部員が参加 顧問が指導(外部指導者が補助する場合もあり)	
部活動 休日	部活動部員が参加 顧問が主導し、外部指導者が補助して指導 萩原SCにてサークル(地域部活動)として出来ないときに実施(令和5~7年度) ・令和8年度からは、この活動は無くなる → すべて萩原SCに移行	
部活動イベント	部活動部員が参加 顧問及び外部指導者が指導 中体連大会や参加要件が部活動単位のイベント	

中学生がバスケットボールに参加できる時間

【通常活動】 一年を通して定期的に実施される活動メニュー

項目	管理者	活動日	活動時間	部員	会員	GN
学校部活動	中学校	平日週3回	放課後16:30まで 約1時間／回 3h	○		
スクール	萩原SC	平日週2回	18:30～21:00の間に2時間 19-21 4h		○	
サークル(地域部活動)	萩原SC	休日週1回	8:30～11:30 又 13:15～16:15 3h			○

- ※1週当り活動時間
- ・バスケット部員(部員) 3時間 学校部活動に出席
 - ・萩原SC会員(会員) 7時間 上記＋バスケットスクールの参加
 - ・GERO NRTH会員(GN) 10時間 上記＋休日の活動に参加

現在の休日活動は、萩原SC又は中学校のいずれかで週1回の活動が基本(部活動指針を遵守)

【追加活動】 主に休日の活動 イベント参加 (大会、練習試合等)

項目	管理者	活動内容	部員	会員	GN
学校部活動	中学校	顧問が主導する活動 中体連大会他	○		
サークル(チーム活動)	萩原SC	GERO NOTHの活動 (中体連以外の大会など)			○

萩原SC支援体制

サークル(地域部活動)の実施を推進するために、次の支援を行います(一部計画案含む)

支援項目	支援内容
①施設使用料	萩原SCにて負担する ・総合型クラブは、半額減免適用あり 全額免除適用を要請中
②スポーツ用具・備品等	萩原SCの所有物(スクールにて使用する物品)の使用を許可 ・消耗品は、原則受益者負担
③スポーツ安全保険	すべての指導者は、スポーツ安全保険に加入する ・保険料1,850円/人は、萩原SCにて負担
④クラブ指導者謝礼	現状 : サークルは、各サークルに任せる 外部指導者には、中学校より謝金あり(クラブ指導者との兼務者多数あり) 改善案 有償ボランティア制度の制定を検討する
⑤顧問指導者謝礼	受益者(GERO NORTH)負担は困難なため、萩原SCにて負担 ・外部講師と同様に扱い、金額は部活動手当相当額
⑥事務処理経費	施設確保、諸手続き、諸連絡など ・クラブ事務局職員が対応

※令和4年度は、萩原SCにて諸経費を負担しますが、公費負担や受益者負担についての協議も行います。

地域部活動の支援施策が定まれば、クラブ負担は軽減されることとなります。

クラブ支援内容の詳細説明

サークル(地域部活動)に関わる活動経費の負担は、基本的には次の3つの組織にて分担する

- ①行政負担 下呂市他の公費による負担 現状の学校部活動はほとんどは公費負担
- ②クラブ負担 地域部活動を主催する萩原SCによる負担
- ③受益者負担 保護者や保護者組織による負担

令和4年度は、地域部活動を推進するためにクラブ負担にて事業を実行する

今後の地域部活動を継続するためには、上記の3つ組織にて経費分担について検討する必要がある

次頁以降に、活動経費についての詳細をまとめる

基本データ 経費を試算するために必要な情報 GERO NORTHに関わるデータ

○施設使用料金	学校体育館 使用料100円/h 照明代100円/h	半額減免適用
	あさぎり半面 500円/h	500円/h //
○クラブ指導者数	中学生バスケット 5名 顧問の登録者 3名	
○地域部活動回数	40回 休日の年間活動回数を想定	
顧問数	2名 一度に指導を担当する人数	
○部活動手当	3時間2,700円(2時間1,800円)	岐阜県助成施策
○外部指導者謝礼	年間36,000円	下呂市助成施策

①施設使用料

萩原南中体育館 半面使用100円/h・全面200円 照明半面150円/h・全面300円/h
あさぎり体育館 半面使用410円/h・全面820円/h 照明半面620円/h・全面1,240円/h

○萩原南中体育館を半面使用時の試算

男子 100円×3時間×40回 = 12,000円 照明ありの場合 +18,000円

女子 100円×3時間×40回 = 12,000円 照明ありの場合 +18,000円

総合型クラブは、半額減免適用なので、必要経費は、男女合計で年間12,000円～30,000円

・あさぎり体育館を使用すると、施設使用料は3～4倍となる

②スポーツ用具・備品等

スクールにて使用する物品をサークル(地域部活動)にて使用することを許可する

- ・バスケットボール7号球、6号球を必要数
- ・ボールケース、ビブス、タイマー、救急箱など
- ・用具保管庫 (体育館下に設置)

総合型クラブ設立時から順次購入、補充をしている

クラブ所有物と部活動所有物を、互いに供用して利用する場合もある

③スポーツ安全保険

クラブ指導者 中学生バスケット担当 5名 / 顧問の指導者登録者 3名 合計8名

スポーツ安全保険料 1,850円×8名 = 14,800円

必要経費は、14,800円

④クラブ指導者謝礼

○クラブ指導者は、原則ボランティアにて指導を担ってもらっている

- ・指導者も年会費を納めてクラブ会員登録している

○スクール指導について、交通費相当として1回300円程度の実費弁償をしている

- ・有償ボランティアの制度化を検討している

○サークルの指導者謝礼等は、各サークルにて対応としている

- ・GERO NORTHの保護者組織にて決定 (受益者負担を基本とする)

○学校部活動の外部指導者には、中学校から指導者謝礼が出ている 下呂市の助成制度

- ・年間36,000円 外部指導者は、中学校長から委嘱された人

- ・バスケットのクラブ指導者と外部指導者の兼務者は3名 (外部指導者謝礼は各部活動1名分)

⑤顧問指導者謝礼

現状分析

○休日の部活動を担う顧問には、中学校より部活動手当が支払われている

- ・現状下呂市では、3時間以上の指導に2,700円支給 岐阜県では2時間1,800円もあり

○地域部活動の指導を希望する顧問は、萩原S Cに指導者登録して指導に従事する

○クラブ管理下のサークル(地域部活動)では、謝礼は各サークルに任せている

- ・現状の部活動手当に相当する謝礼を、受益者(GERO NORTH)で負担することは困難
- ・地域部活動を指導する顧問指導者に対して、部活動手当の支給を中学校に要望したが、不受理となった

理由：部活動手当は、岐阜県助成施策のため下呂市では決められない

○休日に、顧問が指導に従事できるとき、次の2つの選択肢がある

①学校部活動(中学校管理下の活動)として行う → 部活動手当の支給がある

②地域部活動(クラブ管理下の活動)として行う → 受益者負担が基本であるが支給は困難

※結果として、①が選択され、地域移行が滞ることになる

- ・地域部活動の指導者謝金財源について、国・県・市は検討中のため、これを当てにはできない

岐阜県の助成施策は、働き方改革(休日の部活動の地域移行の推進)面では妨げ要因となっている

⑤顧問指導者謝礼 つづき

解決策

地域移行を推進するために、部活動手当と同額をクラブ負担で支払うことにする

○クラブ負担の期間は、最長で令和7年度まで（令和8年度からは、休日に顧問による指導は無い）

- ・国などの助成策が決まれば、そちらを優先し、不足分を手当てする

○GERO NORTHの顧問指導者謝礼の支給額を試算する

・ $2,700\text{円/回} \times 40\text{回} \times 3\text{名分} = 108,000\text{円}$ 3名分で 年額324,000円

- ・実際には、全員が毎回指導に従事することはないと考える

※クラブから顧問への要望

①顧問も地域の一社会人として、スクール指導者登録し、スクールの運営・指導に従事することを要望

- ・スクール指導者謝礼は、有償ボランティア制度を設ける予定
- ・平日夜間の活動（主にスクール）への対応を見据え、指導者スタッフの一員として参加

②地域部活動の指導者謝礼は、国などの施策動向を踏まえて別に検討する

- ・受益者負担＋行政負担＋クラブ補助 で有償ボランティアを基本とする

③サークルの活動（練習試合、大会参加など）の謝礼は、受益者(GERO NORTH)にて負担する

⑥事務処理経費

地域部活動に関わる管理業務はクラブ事務局にて担当する

- ・地域部活動に関する受付、各種手配・諸連絡などサポート業務
- ・施設使用料精算や指導者給与などの会計業務

会員サービス事業の一環として、スクールやイベントなどと一緒にクラブ職員にて対応する

⑦その他 指導者養成など

資格取得助成

- ・中学生の指導に必要となる指導者資格や審判資格の取得について、助成を検討している
- ・下呂市スポーツ協会にも支援要請

指導者研修

- ・総合型クラブは、スポーツ指導者研修を以前から実施している
- ・スポーツ指導者としての技量や資質は、個人差はあるが部活動顧問より秀でている人も多い

部活動指導

- ・部活動の目的とする事項については、クラブ指導者は研修等を受講し、理解する必要がある

GERO NORTH 令和4年度地域部活動への支援費用

項 目	予算額	最大予算	備 考
①施設使用料	12,000	30,000	萩原南中体育館使用 男女2団体
②スポーツ用具・備品等	スクール	スクール	スクールにて使用する物品の使用を許可
③スポーツ安全保険	14,800	14,800	令和4年度は、8名が登録済
④クラブ指導者謝礼	検討中	検討中	スクール : 有償ボランティア制度を検討中 地域部活動 : // サークル : GERO NORTH負担
⑤顧問指導者謝礼	97,200	324,000	3名分 9月開始 予算は30%計上
⑥事務処理経費	無料扱い	無料扱い	GERO NORTHはモデルケースのため無料 全種目管理となった場合は相応の経費発生
⑦その他	交渉中	交渉中	資格取得、研修参加等に助成を検討
合 計	124,000	368,800	

萩原SCのスクール種目 : バスケットの他に男女バレー、男女ソフトテニスト、野球、卓球、剣道の7部活動あり
陸上競技はスクールが無い

GERO NORTHバスケットボールクラブの規約について

GERO NORTHの立上げに当たり、関係者で規約案を作成している規約作成における要点として、萩原SCとして次の項目をお願いした

- ①GERO NORTH代表者は、指導者から選任する
 - ・クラブ指導者の中で代表者を決め運営・指導を行う
 - ・保護者会規約は必要であれば別に作成のこと
- ②決算年度は、4月～3月とする
 - ・萩原SCも中学校も3月末決算
 - ・部活動は中体連大会の終了を区切りとしているが、これが地域移行の妨げの一因でもある
- ③保護者組織の一本化を図る
 - ・部活動保護者会は、GERO NORTH保護者会の中にある一部門とする
 - ・部活動会計とGERO NORTH会計は区別して管理する
- ④保護者の当番制は設けない（必要としない運営を考える）
 - ・保護者の事情でGERO NORTHに加入を躊躇う生徒を出さない

※GERO NORTH規約は、規約内容について関係者にて協議中

地域部活動推進に関わる下呂市の方針について

【令和3年度方針】

○部活動を、学校単位から地域単位の活動に変更する

- ・少子化の影響により、学校単位では休部や廃部となる部活動が出ており、今後も増加が見込まれる
- ・合同部活動により中体連大会に参加可能な規模の部活動チームを編成する
- ・具体策 下呂市北部(萩原南・萩原北・小坂)、下呂市南部(下呂・竹原・金山)の2つの地域単位を設定
下呂市北部は、萩原SCにて担当 下呂市南部は未定(下呂温泉しらすぎSCが候補)
- ・休日の部活動を萩原SCが担うことで、「教員の働き方改革」と「中体連大会への参加」が可能な体制はできた

【令和4年度方針】

○下呂市全域を対象にして、中学校間による合同部活動の編成を推進する

- ・下呂市北部、下呂市南部の地域区分は廃止する
- ・下呂市全体を考慮し、地域部活動の受け皿がない地域(下呂・金山)を踏まえた対応を行う
- ・具体策 中体連大会への参加が可能な合同チームの編成を考える
休日の部活動に通う生徒の送迎対策を実施 バス時間の調整、バス代の補助など
- ・地域部活動(休日や時間外の部活動の地域移行)は、令和5～7年度の3年計画で実施する

萩原SCが考える地域部活動の在り方

GERO NORTHバスケットボールクラブの取組を、萩原SCがめざす活動形態の基本モデルと考える

①中学校と協働連携にて活動する

- ・互いに対等の立場で協力して行動
- ・総合型クラブは、部活動の補助・支援を目的に設立した組織ではない

②総合型クラブの設立時に掲げた中学生世代のスポーツ育成策（部活動との相違点）

- ・多種目のスポーツに参加でき、競技志向も、楽しみ志向も適える *部活動は1種目限定で、中体連大会が目標*
- ・部活動には退部があるが、クラブにて継続してプレーできる *大人になってもスポーツを続ける人の育成*
- ・小中一貫指導体制で指導を行う *小学校、中学校の各々で途切れることのない指導環境*

萩原SCは、基本方針として、部活動の地域移行について、中学校と協働で実施することとする

部活動は、地域の中学生のスポーツ育成に主導的な役割を果たし、その指導は専ら顧問の労力に委ねられてきた
今後は、中学校と萩原SC(地域)が連携して、地域の子どものスポーツ育成する体制への改革を行う

活動に必要な資源(財源・人・物)は、クラブも相応の負担を行い、中学校と受益者(保護者)との3者で対応する
中学生の休日や平日夜間(下校時間後)は、全て萩原SC管理下の活動として運営・指導を実施する

地域部活動経費の分担について

地域部活動を推進するために、GERO NORTHの活動経費をできる限り萩原SCにて負担することにした。

これは、近々の暫定解決策であり、活動継続のためには、活動資源を関係者で分担する抜本解決策が必要となる。

負担者分類 ①行政(中学校) ②地域(総合型クラブ) ③家庭(保護者)

活動経費を整理し、今後の経費分担を検討する。

項 目	経 費 分 担 案
施設使用料	地域部活動は、部活動と同様の扱い(全額免除)とする ・まちづくり推進課に要請中
スポーツ用具・備品等	クラブと部活動とで共用可能な物品は共用する
指導者謝金	①顧問指導者には、部活動手当と同額の支給を要請する ・市教育経由にて県教委に要望 働き方改革を推進する上で必要 ・令和7年度までの3年間で終了 ②クラブ指導者謝礼は、クラブにて有償ボランティア制度を検討 ・スクール経費はクラブ負担が原則 年会費改正を検討 ③各サークルの指導者謝金は、受益者負担が原則 保護者の理解を高める ・現在の外部指導者謝礼は、地域部活動の指導者に振り変える 市教委に要請
指導者養成	下呂市スポーツ協会に小中学生のスポーツ指導者養成事業の実施を要請 ・指導者研修、資格取得支援、指導者バンク設置など